

チームA: シロツリ

リーダー; 船渡

メンバー; 中瀬、中野、宗像、都築、吉川

活 動 休 止

★活動休止理由★

以下の理由により当面活動を継続することが困難となり、本チーム活動は休止します。

- ・具体的に共同で活動を行う中小企業が無い状態での活動は勉強会程度に限定され、活動が進展しない。
- ・リーダーが4月より異動となり、活動自体の継続が困難で代行もいない。

今後は、新たに活動を開始する「伝統技術に学ぶ」チームへの参画を検討し、そこから中小企業との交流が生まれれば、新たな活動につなげていきたいと考えます。

I. 目的

グローバル化の進展による製造業の海外移転等で日本のモノづくりは厳しい環境にさらされています。一方、中小企業の中には'大企業ではできないコア技術'で活躍しているところも多数あります。中小企業との交流や議論を通じ、成長のための新しい気づきや指針がきっと見つかるはずです。それをもとに発信、行動することにより、NPOの目的である「社会的価値の創造」が実現できると思います。活動を通じ、ともに成長しましょう。

II. 活動状況

2013年度計画

フォーラム開催(橋本久義 政策研究大学院教授)
中小企業との交流開始

2013.5.19 橋本先生との協議 (船渡、中瀬、敬称略)

橋本先生より、このような活動は数多くありなかなか難しいのが現状。
まずは橋本先生が開催している勉強会(月1回のペースで平日夕方に橋本先生の教室で面識のある方に来てもらい、講演会を開催している)に参加してそこから活動を始めてはとの提案あり。

2013.5.21橋本先生勉強会参加(中瀬、敬称略)

講師: 山本精工 山本副社長
京都試作ネット(中小企業による試作ネットワークで新しいモノづくりを展開)

III. 企画会議レビュー結果(2013.11.23)

技術関係は中小企業のほうが進んでいるところもあるが、中小企業に無いのが現役の技術者なので、中小企業とのコンタクトを作れば交流は始まると思う。
テクノ未来塾の強みは様々な分野の一流企業の技術者が揃っている事、その強みもプロジェクト活動から深まると期待。